

令和5年北部方面隊始動



年初編隊飛行訓練(札幌市上空)



第786号

令和5年2月17日

要望事項

「真に戦える実効性ある部隊の創造」
「地域等との連携」
「人間力の強化」

発行：北部方面総監部広報室



87式自走高射機関砲と隊員の綱引き(第7高射特科連隊)



ストックランニング(第2特科連隊)



ダルマの目入れ(北部方面総監部)



年男・年女の抱負(第11施設隊)



安全祈願(第5特科連隊)



中隊対抗スキーリレー(第12施設群)



記念撮影(第3地对艦ミサイル連隊)

5年を迎えるに当たり、部隊の特性を生かした訓練始めを実施し、更なる部隊の飛躍と隊員並びにご家族の安全を祈願した。

総監は、方面隊の隊員に対し、「百年先を見据え、真に戦える実効性ある部隊・機関」を目指し、「地域等との連携」のより一層の強化と、あらゆる隊務を通じた「人間力の強化」を改めて要望するとともに、あらゆる事態に「即動必遂」し、将来にわたり、「真に戦える実効性ある北部方面隊」を創造して、方面隊の使命を果たしていく。」と述べた。

部隊の飛躍と隊員の安全を祈願

各部隊訓練始め



新成人の夢発表(北恵庭駐屯地)



二十歳の主張(上富良野駐屯地)



二十歳の抱負(釧路駐屯地)



雪合戦(真駒内駐屯地)



綱引き(留萌駐屯地)



乗馬体験(ライディングヒルズ静内)

各駐屯地は、新成人に対し、それぞれの駐屯地において成人行事を実施した。

成人を祝福した。祝福を受けた新成人達は、立派に育ててくれた保護者をはじめ、それぞれの出会いに感謝するとともに、自衛官としての自覚を胸に、更なる飛躍を誓った。

新成人が決意を新たに躍進を誓う

各駐屯地成人行事

北部方面隊の活動はホームページ及び各種 SNS をご覧ください。チャンネル登録及びグッドボタンをよろしくお願いします。

YouTube

Instagram

Facebook

Twitter

HP



ユーチューブ



インスタグラム



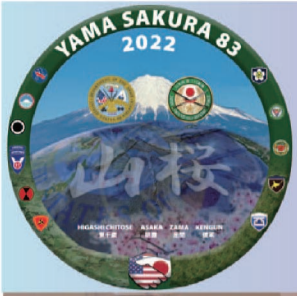
フェイスブック



ツイッター



ホームページ



日米共同方面隊指揮所演習 (YS-83)



YAMA SAKURA 83 OPENING CEREMONY Dec 4th 2022 令和4年度日米共同方面隊指揮所演習 訓練開始式 令和4年12月4日

訓練開始式



訓練開始式における日米両指揮官に対する敬礼

米第11空挺師団と共に任務完遂

方面隊は、令和4年12月4日から13日までの間、東千歳駐屯地等において日米共同方面隊指揮所演習(YS-83)に参加した。

本訓練は、第7師団(師団長 中村陸将)及び第11旅団(旅団長 青木陸将補)をはじめとする各部隊が道内に展開して、米第11空挺師団(師団長 アイフラー少将)との日米共同作戦により、侵攻する敵を撃破することを任務として演習した。

訓練開始式において、沖邑総監は、「本訓練が、



日米両指揮官による固い握手



日米共同状況報告

ることを期待する。」と述べた。

また、アイフラー師団長は、「相互に信頼し合う大切な同盟国であり、北部方面隊と共にこの訓練は、日米同盟に基づく北東アジア地域の平和と安全にとって非常に重要な機会である。」と述べた。

訓練間においては、方面隊が実施する領域横断作戦と米第11空挺師団の空中機動力及びHIMARS等の長距離かつ精密な火力を發揮したマルチドメインオペレーションとを連携させるため、統制・調整要領を具体化した。本演習により、日米共同作戦遂行の実効性の向上を図るとともに、多くの教訓を得て指揮所演習を終了した。



語学支援



統合・共同調整



日米共同調整会議



米軍来道



優秀隊員表彰



状況終了時の勝鬨



日米親善交流



管理支援

第7師団総合戦闘射撃

各級指揮官の戦闘指揮及び諸職種協同火力の組織化を練成

第7師団(師団長 中村陸将)は、令和4年12月14日から19日までの間、北海道大演習場において、令和4年度総合戦闘射撃訓練を実施した。本訓練は、各級指揮官の戦闘指揮及び諸職種協同の火力を組織化し得る能力の向上を目的とし、集結地における攻撃準備から第一線陣地に対する攻撃までの一連の状況下で実施された。第11普通科連隊基幹や第73戦車連隊基幹で構成された各戦闘団は、諸職種の配属・協同部隊とともに、敵情の解明、地雷原等の障害処理を実施するとともに、火力による掩護態勢の確立、間隙射撃による攻撃前進、偵察部隊からの情報に基づく砲迫火力の射撃等、陣地攻撃における各部隊の行動について演練した。各戦闘団は、実戦的・実際の状況下において、各級指揮官の適切な状況判断と指揮の下、戦況に応じた火力の組織化を図り、それぞれの任務を完遂して、本訓練を終了した。



92式地雷原処理車による投射



90式戦車による射撃



戦闘団による連携した戦闘



第一線陣地での射撃



射撃位置へ前進する87式自走高射機関砲



99式自走155mm榴弾砲による射撃

第2師団冬季戦技競技会

北鎮師団の誇りを胸に雪原を滑走

第2師団(師団長 富樫陸将)は、1月26日から27日までの間、上富良野演習場において、令和4年度師団冬季戦技競技会を実施した。本競技会は、冬季の作戦行動に直結する戦闘



アキオ曳行



小火器射撃

戦技能力の向上を図るとともに、部隊の士気の高揚及び団結の強化を図ることを目的として実施した。競技会は、部隊機動及び個人機動に区分され、小火器射撃及びアキオ曳行を含めた約6kmのスキー機動により競われた。各部隊は、北鎮師団の誇りを胸に、熾烈な戦いを繰り広げ、Aグループは第3即応機動連隊が、Bグループは第2戦車連隊が、Cグループは第2偵察隊が優勝を成し遂げるとともに、各部隊は、競技会を通じて闘争心の涵養及び部隊の一体感を醸成した。



優勝部隊表彰

第5旅団武装走競技会

旅団各部隊の代表570名による武装走

第5旅団(旅団長 鳥海陸将補)は、令和4年12月20日、帯広駐屯地において、令和4年度旅団武装走競技会を実施した。本競技会は、作戦・戦闘に必要な体力・気力の向上を促すとともに、部隊の団結の強化及び士気の高揚に資することを目的として実施した。旅団隷下14個部隊が参加し、各部隊がグループに分かれ、部隊対抗の部及び個人戦により競技に参加した。各隊員は、積雪の中、約10キロの装具を身にまとい、2.4kmのコースを激走した。本競技会では、各部隊が誇りを胸に、コースを走り抜け、Aグループは第6普通科連隊が、Bグループは第5特科隊が、Cグループは第5通信隊が優勝し、競技会の幕を閉じた。



背中を押して助け合う選手たち



最後の直線を激走する女性自衛官チーム



優勝部隊表彰

北海道防災総合訓練(第11旅団)

厳冬期における災害対処能力の向上

第11旅団(旅団長 青木陸将補)は、令和4年12月17日、北海道庁が主催する令和4年度北海道防災総合訓練に参加した。本訓練は、厳冬期・コロナ禍において地震に



救助訓練

より大規模停電及び断水が発生した想定で実施され、滝川市において地震で被害が出てい

対空レーダ装置P-25火入れ式

北部方面隊に初導入

第1高射特科団(団長 貴島陸将補)は、1月27日、新たに装備された対空レーダ装置P-25のお披露目となる火入れ式を実施し、新装備導入を部内外に披露した。対空レーダ装置P-25は、航空領域における対空監視網を構成し、目標情報資料を収集するために使用するものであり、従来の対空レーダ装置に比べ、大幅に性能が向上した。団は、決意を新たに、対空レーダ装置P-25の早期戦力化を図っていく。



対空レーダ装置P-25



火入れ式

第66回北部防衛衛生学会

救命への執念 真に戦える部隊の創造のために

自衛隊札幌病院(病院長 鈴木陸将)は、1月25日、北海道青少年会館コンパスにおいて、第66回北部防衛衛生学会を...



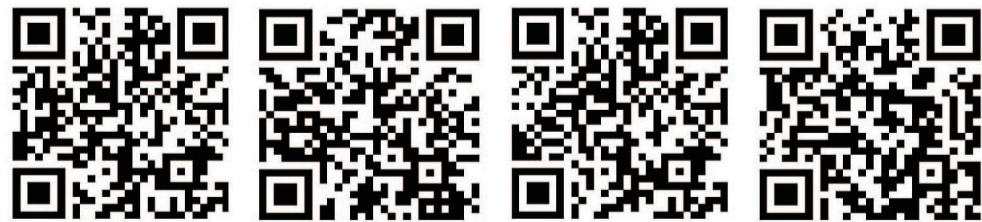
第221回 ~心の健康相談室~ 人生に潤いを与える言葉 士君子、一たび窮愁寥落に当るも、奈何ぞ輒ち自から廢弛せんや。



令和5年度自衛官等採用案内



Table with 4 columns: 種目, 資格, 受付期間(締切日必着), 試験期日. Rows include 幹部候補生, 医科・歯科幹部, 技術海上幹部, 航空学生, 一般曹候補生, 自衛官候補生, 防衛大学校学生, 防衛医科大学校医学科学生, 防衛医科大学校看護学科学生, 陸上自衛隊高等工科学校生徒, 貸費学生, 予備自衛官補.



札幌地方協力本部 011(631)5472 旭川地方協力本部 0166(51)6060 帯広地方協力本部 0155(23)5882 函館地方協力本部 0138(53)6241

今年も、さまざまな職種・専門分野で活躍する自衛官を募集しています。ご家族・ご親戚・ご友人などで、自衛官になりたい方や興味がある方がいらっしゃいましたら、お近くの地方協力本部に情報をお寄せください。